

平成17年度専修学校を活用した職業意識の啓発推進】

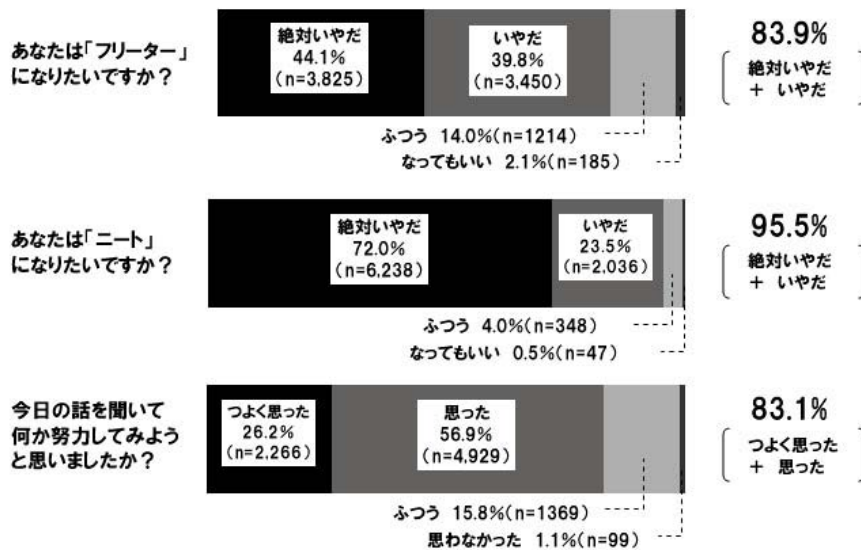
事業名	『フリーター・ニートになる前に受けたい授業：全国出張キャラバン』 および各地域ごとの「フリーター・ニート防止教育」研究会の組織化		
学校法人名	学校法人三橋学園		
学校名	船橋情報ビジネス専門学校		
代表者	理事長 鳥居勝一	担当者・連絡先	鳥居徹也 047-421-0021

<事業の概要>

船橋情報ビジネス専門学校の鳥居徹也が、全国の中学校・高校を訪問し、フリーター・ニート予防対策の授業を展開する。

<成果>

平成17年度は、全国約80カ所、約1万人の中学生、高校生、PTA、教員に授業・講演を行った。そのうち、授業アンケートの回収ができた下記学校の結果をまとめた。(集計グラフは別ファイル参照のこと。また授業を受けた生徒の声(H18.3.6墨田中学校2年生)も別途添付)。



成果としては非常によかったのではないかと思います。平成17年度にキャラバンした、中学1年生～高校3年生全8,669名のデータである。フリーターにはなりたくない(絶対いやだ+いやだ)という生徒が83.9%になった。さらに、私が最も注目する「努力」についての項目では、

83.1%の生徒が努力してみようと思ってくれた(つよく思った+思った、の合計)。各学年別のデータでも概ね一緒だった。必要な情報を細分化して、わかりやすく伝えれば、彼らの心を動かすことができたわけだ。

私はフリーター・ニートの問題を扱ってはいるが、労働問題の専門家ではない。これはあくまでも前振りに過ぎない。私はフリーターやニートという、ともすれば環境に依存しがちな(あるいは不可抗力で依存せざるをえない)存在を題材として、その対極にある「自立」について考えてもらいたいと思っている。あくまでも予防である。だから話の重点は、彼らがまず一番最初に取り組むべき「学習態度」についてのアドバイスである。私の話を聞くことで、「何か努力しようと思った」という声がでなければ、失敗

なのだ。

モチベーションをあげる教育は最も困難といわれるが、私はそれにチャレンジしてきた。一般に人を動機付ける方法は2通りあり、①行動後のメリットを示す方法と②行動しないときのデメリットを示す方法だ。①の例として、「これをやったら夏休みだ!」とあって宿題をさせる方法。②は、「これをやらないと、将来は…」というように、不安に訴求する方法。間違いなく、②が有効である。現代のメディアはこうして情報操作をする。本来これは望ましくない。それは私も承知している。しかし、どうしても伝えなければならないことがある。働くことは生きることだ。だから私はこの手法をとっている。

しかし、しょせんは一期一会の講演でしかない。後は現場の先生に託すのみだ。だからこそ私は、先生方も生徒と共に私の講演を聞いていただきたいと思っている。50分の講演で、多くの生徒の心に灯がつく。それを絶やさず、卒業まで守ってほしいと切に願う次第だ。

アンケート協力先:	
高等学校(29校)	中学校(14校)
埼玉県立宮代高等学校	北海道小樽市立西陵中学校
埼玉県越谷総合技術高等学校	宮城県仙台市立柳生中学校
千葉県立千葉北高等学校	埼玉県蓮田市立蓮田南中学校
千葉県立若松高等学校	埼玉県東松山市立松山中学校
千葉県立四街道北高等学校	東京都足立区立第十二中学校
千葉県立船橋豊富高等学校	東京都墨田区立墨田中学校
千葉県立船橋高等学校(定時制)	東京都町田市立忠生中学校
千葉県立白井高等学校	千葉県印西市立印西中学校
千葉県立八千代東高等学校	長野県高遠町立高遠中学校
千葉県立実籾高等学校	愛知県武豊町立武豊中学校
千葉県立国府台高等学校	大阪府枚方市立津田中学校
千葉県立柏陵高等学校	愛媛県松山市立鴨川中学校
千葉県立柏北高等学校	福岡県行橋市立中京中学校
千葉県立松戸馬橋高等学校	沖縄県石垣市立石垣中学校
千葉県立松戸高等学校	

千葉県松戸市立松戸高等学校	
千葉県立関宿高等学校	
千葉県立野田高等学校	
千葉県立佐倉南高等学校	
千葉県立成田北高等学校	
千葉県立匝瑳高等学校	
千葉県立一宮商業高等学校	
千葉県立下総高等学校	
千葉県立安房南高等学校	
東京都立上野忍岡高等学校	
東京都立練馬工業高等学校	
福岡県立ありあけ新世高等学校	
佐賀県立嬉野高等学校	
沖縄県立八重山高等学校	